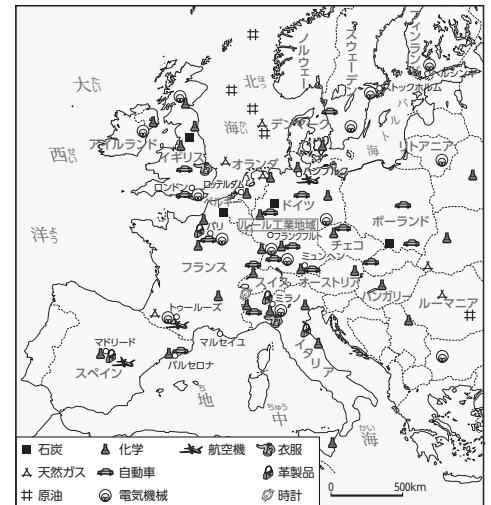


1. 拡大するヨーロッパの工業地域

ヨーロッパの工業の移り変わりについて、教科書本文と資料Ⅰを参考にして、下の表にまとめてみよう。

時 期	主な場所	工業の種類
18 世紀～	石炭や鉄鉱石の産地	重工業
1960 年代～	臨海部	石油化学工業
現在	大都市近郊	先端技術産業

資料Ⅰ

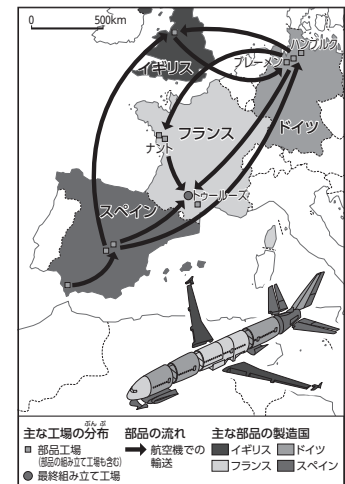


2. EU 統合により発展した航空機産業

現在ヨーロッパで航空機産業が発展している理由を、資料Ⅱを参考に考えてみよう。

(例) 各国のメーカーが専門技術を生かして部品を製造し、関税がかからない利点を利用して部品を輸出入して組み立てを行っているから。

資料Ⅱ エアバス社の航空機（エアバス A350XWB）の製造における国際分業



3. EU 統合による東ヨーロッパの工業の変化

(1) 東ヨーロッパから西ヨーロッパへ働きに出る人々が多い理由はなぜか考えてみよう。

(例) より高い賃金を求めるため。出稼ぎをするため。

(2) 新たに EU に加盟した東ヨーロッパの国に工場が増加している理由を考え、まとめてみよう。

(例) 賃金の低い東ヨーロッパの国に工場をつくり人件費を抑え、安く生産した工業製品を関税のかからない EU 域内で販売するため。

本時のまとめ

◆ EU の統合により、ヨーロッパの工業には、どのような変化が生じたのか、説明しよう。

(例) ・ EU 各国の企業が共同で製品を生産した。

・ EU 各国での大きな分業体制ができた。

・ EU 域内でも、賃金の高い国から賃金の低い国へ工場が移転した。